

3次元測定機の有効活用

※弊社は、可変柵の試験成績表を、3次元測定機を使用して、作成しています。

大型の柵であっても、一人作業で測定することが可能です。精度Upで小数点以下まで測定が可能。

対象物の測定～試験データの作成まで自動で作成し、許容値を入力するだけで測定結果の判定まで自動で行います。



※カメラユニットを三脚にセットして、ノートパソコンとケーブルで繋がれば設置完了

測定したい平面及び稜線をプローブで当てるだけで、距離を測定出来ます。

作成日：2023.05.10

上越産業(株)